

CASBEE-広島（2010年ver.1）

株式会社三幸産業本社工場

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							2.7
Q1 室内環境							2.9
1 音環境			1.8	0.15		-	1.8
1.1 騒音			2.0	0.40		-	
1.1.1 暗騒音レベル			2.0	1.00		-	
				-		-	
1.2 遮音			2.2	0.40		-	
1.2.1 開口部遮音性能			3.0	0.60		-	
1.2.2 界壁遮音性能			1.0	0.40		-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-		-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-		-	
1.3 吸音			1.0	0.20		-	
2 温熱環境			3.0	0.35		-	3.0
2.1 室温制御			3.8	0.50		-	
2.1.1 室温設定			3.0	0.38		-	
				-		-	
2.1.3 外皮性能		外壁ALC面にグラスール10kg t=50を設置	5.0	0.25		-	
2.1.4 ゾーン別制御性		ゾーン別に冷房・暖房が選択可能な空調システムとしている	4.0	0.38		-	
				-		-	
				-		-	
				-		-	
				-		-	
2.2 湿度制御			1.0	0.20		-	
2.3 空調方式			3.0	0.30		-	
3 光・視環境			2.9	0.25		-	2.9
3.1 屋光利用			1.8	0.30		-	
3.1.1 屋光率			1.0	0.60		-	
3.1.2 方位別開口				-		-	
3.1.3 屋光利用設備			3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策			3.0	0.30		-	
				-		-	
3.2.2 屋光制御			3.0	1.00		-	
3.3 照度			2.0	0.15		-	
3.3.1 照度			2.0	1.00		-	
				-		-	
3.4 照明制御		作業単位ごとに制御可能	5.0	0.25		-	
4 空気質環境			3.5	0.25		-	3.5
4.1 発生源対策			4.0	0.50		-	
4.1.1 化学汚染物質		建築基準法規制対象外となる建築材料にもほぼ全面的に採用	4.0	1.00		-	
				-		-	
				-		-	
				-		-	
4.2 換気			3.0	0.30		-	
4.2.1 換気量			3.0	0.33		-	
4.2.2 自然換気性能			3.0	0.33		-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.33		-	
				-		-	
4.3 運用管理			3.0	0.20		-	
4.3.1 CO ₂ の監視			3.0	0.50		-	
4.3.2 喫煙の制御			3.0	0.50		-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.2
1 機能性			2.8	0.40		-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ			2.3	0.58		-	
1.1.1 広さ・収納性		作業室の面積 945.1975/90=10.50㎡/人	4.0	0.33		-	
1.1.2 高度情報通信設備対応			2.0	0.33		-	
1.1.3 バリアフリー計画			1.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性			3.6	0.39		-	
1.2.1 広さ感・景観		事務室の天井高さ2.7m	4.0	0.33		-	
1.2.2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースとして食堂・喫煙室を設置	4.0	0.33		-	
1.2.3 内装計画			3.0	0.33		-	
1.3 維持管理			2.5	0.03		-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50		-	
1.3.2 維持管理用機能の確保			2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性			2.9	0.31		-	2.9
2.1 耐震・免震			3.0	0.48		-	
2.1.1 耐震性			3.0	0.80		-	
2.1.2 免震・制振性能			3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.33		-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23		-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	9.00		-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		11年以上～20年未満	4.0	0.09		-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08		-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.15		-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23		-	

	2.3 設備の更新				-		-	
	2.4 信頼性			2.8	0.19		-	
	1	空調・換気設備	衛生器具に節水型を採用	3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		4.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			4.1	0.29		-	4.1
	3.1 空間のゆとり			4.6	0.31		-	
	1	階高のゆとり	主要階高を4.9m、4.7m	5.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ	63.8/267.55=0.23	4.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり		積載荷重 5000N/m ²	5.0	0.31		-	
	3.3 設備の更新性			3.1	0.38		-	
	1	空調配管の更新性	主要室各所にマシンハッチを設置しルートを確認	3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		1.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		5.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.39	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.03		-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28		-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		ERR=16.5		4.0	0.42		-	4.0
4 効率的運用				3.0	0.28		-	3.0
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護				3.0	0.15		-	3.0
	1.1	節水		3.0	0.40		-	
	1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
	2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.63		-	3.3
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	磁器質タイル、再生骨材 玄関、路盤	4.0	0.20		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	評価する取り組みが1つ	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.22		-	3.2
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68		-	
	1	消火剤	ハロン消火剤の使用は無し	4.0	0.33		-	
	2	断熱材		3.0	0.33		-	
	3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮				3.6	0.33		-	3.6
2 地域環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
	3	交通負荷抑制	評価する取り組みが1つ	4.0	0.33		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33		-	3.1
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	0.33		-	
	2	振動		3.0	0.33		-	
	3	悪臭		3.0	0.33		-	
	3.2	風害、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3	光害の抑制		3.7	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外広告物に照明無し、又外灯の光が敷地外へ極力もれない器具の採用	4.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	